

## G16研修認定単位とG01申請に関するQ&amp;A

No.	Q&A		備考
1	Q	G16の研修認定シールは、これまでのように受講証明書を発行してもらい、G01申請に使用できますか？	G01理事会（2021.3.8）においてPECS担当者が紙媒体運用廃止について回答
	A	いいえ。G01は薬剤師研修・認定電子システム（PECS）の稼働後に、すべての紙媒体運用を廃止します。したがって、G16がこれまでのように紙媒体の受講証明書を発行してもG01は受け付けられないと思われます。G16はG01が受け付けられない限り、受講証明書（紙媒体）の発行は見合わせます（現在は、PECS稼働が予定されている2021年9月までの期間限定で、申請者に受講証明書を発行しています）。	
2	Q	G16の通信教育講座は、G01の研修認定対象ではなくなったのでしょうか？	2020.12に開催された都道府県薬剤師研修協議会の資料およびG01ホームページ参照
	A	はい。G16の通信教育講座は、PECS稼働に伴いG01の研修対象から削除されました。G16に対する事前連絡はなく、削除理由も明らかにしていません。	
3	Q	G16の研修認定シールをG01での申請に使用できないなら、今後、G16の通信教育講座の受講者は減るのではないのでしょうか？	
	A	G16の通信教育講座受講により取得できる認定単位数は15単位と大きく、年1回の受講が必須のスクーリング講座は、Webオンライン方式による研修が認められるようになりました。スクーリング講座が開催されなかった場合には、「100問の試験問題」に回答する救済措置も用意されています。自己研修講座として受講した場合も5単位を取得することができ、認定申請の条件である【毎年5単位以上を取得】という認定基準を満たすことに繋がりますので、引き続き受講していただき、G16研修認定申請に有効に活用してください。	
4	Q	G16はPECS稼働に伴い、G01の研修実施機関にならないのでしょうか？	
	A	G16はG01の創立時から現在まで、理事職を歴任し、賛助会員として連携していますが、2012（平成24）年12月に薬剤師認定制度認証機構（CPC）から生涯学習研修制度の実施機関（CPC認証プロバイダー）として認証され、独立した研修・認定が可能になりました。G16の認定基準により生涯研修認定薬剤師を認定できるので、現在はG01研修実施機関の登録はしていません。PECS稼働後も登録の予定はありません。	
5	Q	CPC認証プロバイダーとG01との単位互換性はPECS稼働により、なくなるのでしょうか？	G01理事会（2021.6.8）において豊島理事長が回答
	A	G01は単位互換を継続する方向で検討していると言っていますが、その時期や方法に関しては具体的に明言していません。G01における他プロバイダーとの単位互換の対応は、PECS稼働時には間に合わないと思われます。	
6	Q	G16認定薬剤師証は更新回数の表示がなく、更新履歴が長い薬剤師にとってはG01に比べて重みを感じられません。G01からG16に認定申請を変更する利点は、何かあるのでしょうか？	
	A	G16認定薬剤師証に新たに更新回数の表示を追加するとともに、G01認定履歴（更新回数）を引き継げるようにしていきます。G01はPECS稼働後に研修シールを廃止するため、G01研修によって取得した単位をどのように確認すればよいのか、G16の対応が必要になりますが、これまで同様、他プロバイダーで取得した認定単位はG16の認定申請に、所定単位数の二分の一まで使用できます。また、通信教育講座の受講で取得できる単位は1年間で15単位と大きく、G16での認定申請に必要な所定単位（更新申請・3年間で30単位）に効率的に使用できます。コロナ禍で会場集合による研修の機会が激減し、多くがWebオンライン研修に変更されているため、受講の機会は何とか保持されていますが、自宅で、隔月ペースでゆっくり自己学習できる通信教育講座を利用できるのが、G16のメリットの一つです。どのプロバイダーで生涯研修認定を受けても、その重みに優劣はなく、薬剤師が自己研鑽を継続して個々人の職能のレベルアップを図る姿勢が重要です。会員の皆様には、女性薬剤師会ならではの柔軟性と独自性に優れた質の高い生涯教育を提供しているG16で研修認定を受けていただき、引き続き応援していただきますようお願いいたします。	
7	Q	G16では薬剤師研修・認定に関わる電子システム化を予定しているのでしょうか？	CPC協議会（2021.6.19）においてCAPEP業務検討委員会から提案のあったアンケート調査実施について協議し、承認
	A	G01以外のCPCプロバイダーで構成されている団体（CAPEP協議会）で、研修シール・手帳及び管理の電子化、並びにその運用に係る一般社団法人の設立について、各プロバイダーの意向に関する調査が6月下旬に行われました。これは、高額経費を負担することが前提になっているため、G16は「現時点では見合わせる」意向を回答しました。G16におけるWeb研修等の活発な展開に伴い、業務効率化のための研修・認定に係る電子化を早急を図る必要性が高まってきており、G16の研修管理における電子化について検討を開始する予定です。	